

見付宿～袋井宿コース

東海道五十三次のうち、見付宿は江戸日本橋から28番目の宿場であり京都からの旅人が「初めて富士山を見つける場所」として見付と名付けられたと伝えられています。また、袋井市では東海道53ヶ所の宿場の27番目にあたるため、「どまん中袋井宿」として位置づけています。

明治8年に落成開校式をあげた見付学校は、現存する日本最古の木造擬洋風小学校校舎として国の史跡に指定され、館内では当時の授業風景等を再現しており見所が数多くありました。

参加者から「史跡などの説明があり充実したウォークだった」との声がありまた次回もぜひ参加したいとの希望を頂きました。

1. 実施日 平成24年 11月 10日（土）
2. 参加人員 33名
3. 距離 約 10 km
4. コース 見付宿 ～ 袋井宿
5. 行程 磐田駅→旧赤松家→旧見付学校→見付宿→阿多古山→里塚→常夜灯→木原一里→澤野医院記念館→観福寺（へそ寺）→袋井宿場公園→袋井駅（解散）
6. 担当 （社）中部建設協会 浜松支所



旧見付学校



袋井宿場公園